

## 環境学委員会（第26期・第6回）議事要旨

日時：令和6年10月23日（水）15:00-17:00

会場 オンライン会議

出席者 森口、大久保、大塚、馬奈木、池邊、大越、小口、北川、三枝、下田、鈴木、浅見、春日、豊田、中村

### （1） 前回議事要旨の確認

第5回議事要旨の確認をおこなった。

### （2） 分科会の活動報告・活動予定（意思の表出、行事開催等）について

「資料2 環境学委員会、分科会、関連する課題別委員会の R6 年度年次報告」を用いて各分科会の活動報告・活動予定が報告された。環境リスク分科会からは広島大学等との共催によるプラネタリーヘルスに関する公開シンポジウムおよび日本衛生学会と共催の公開シンポジウムの計画が報告された（資料3-1）

### （3） 他委員会との共管の分科会および関連する課題別委員会に関する情報共有

同じく資料2により、他委員会との共管の分科会、関連する課題別委員会について活動報告・活動予定が報告された。サーキュラーエコノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会からは11月22日開催の学術フォーラムの計画が報告された（資料3-2）

森口委員長より、第192総会資料として提示された、今期の「意思の表出」に関する手続き、スケジュール感について説明された。3つの部にまたがる環境学委員会においては、第25期には複数の部での査読に時間を要するなど特別な扱いがあったことについて、浅見委員（第25期委員長）からの補足説明がおこなわれた。

森口委員長より、課題別委員会「循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会」の審議経過について報告があり、特に循環経済、自然再興、炭素中立の3点の関係について意見交換がおこなわれた。

### （4） その他